令和5年度　第３回保護者説明会

令和６年３月18日

横浜市立鴨志田中学校通級指導教室
きこえとことばの教室・まなびの支援教室
〒227-0033 横浜市青葉区鴨志田町536番地　TEL/FAX 045-961-8727

画像削除

QRコードや資料の転用・転載は
お控えください。

活動報告

鴨志田中学校通級指導教室

3

◆開設　平成19年4月

◆教室の種類

きこえとことばの教室（1教室）
まなびの支援教室（10教室）

◆対象となる地域／中学校

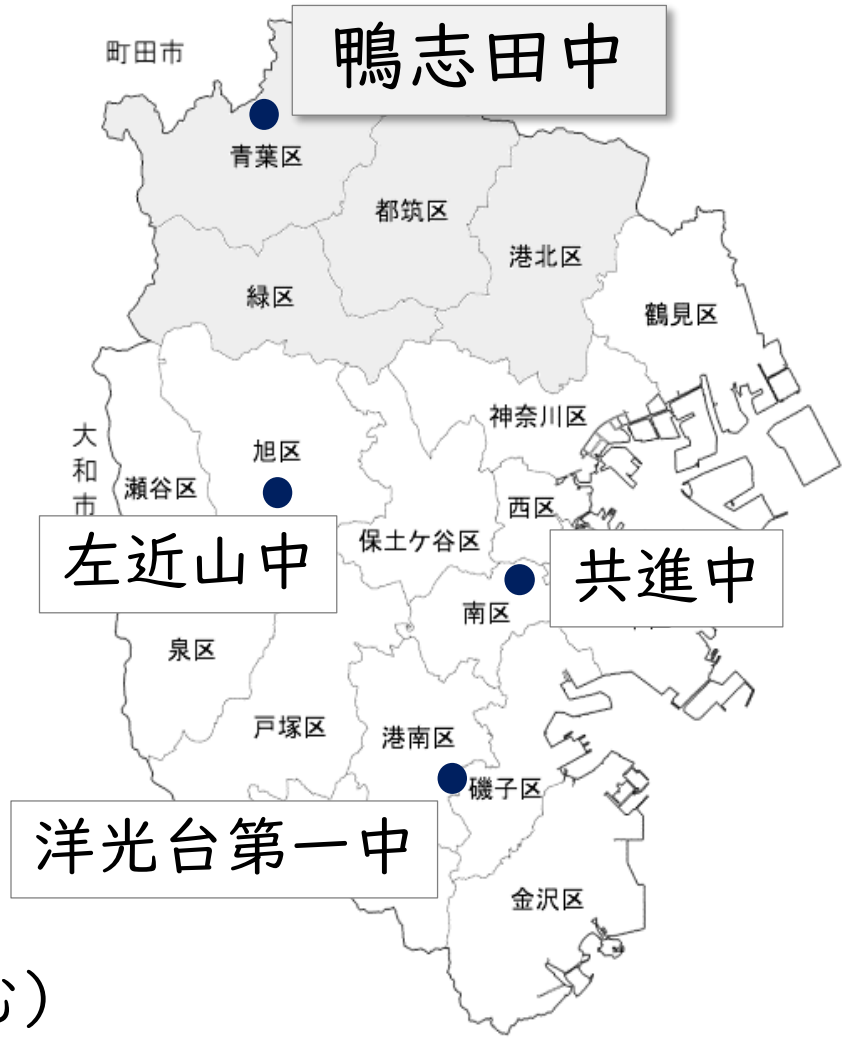
横浜北部（青葉・都筑・緑・港北区）

◆本教室利用生徒数（R6.3月現在）

きこえとことばの教室	18名
まなびの支援教室	179名
	計197名

＊3月末退級予定 62名（卒業に伴う退級53名含む）

（横浜市立中学校通級設置校）



日々の個別活動や小集団活動

主な活動の流れ

① 登校のあいさつ
② 登校記録の記入
③ 生活のふり返り
④ 活動内容の相談

❺ 個別活動や小集団活動
❻ 活動後のふり返り

⑦ 登校記録記入、ふり返り
⑧ 下校のあいさつ
⑨ 見送りトーク

活動の内容や流れは、その日の本人の状態に応じて設定します。

画像削除

集団活動（年３回企画）

個別活動や小集団活動で学んだことを実践する機会として、
10名以上の集団活動を年3回実施しています。

第１回（6/22）　第２回（11/7）　第３回 （2/14）

画像削除

本教室の重点目標

横浜市通級指導教室の目標
『一人ひとりがもてる力を活かし自分らしく生きる』

【鴨志田中通級の重点目標】

- 自分の好きなことや得意なことを知り、自分にできることを意欲的に取り組むことができる。
- できないことは無理をせず、自分に合った方法で対処することができる。
- 困ったときやわからないときに、他の人に相談することができる。
- 生きていくために最低限必要なルールを守ることができる。

本教室の指導の３本柱

傾聴

・本人の見ている世界に寄り添う感性を大切に、本人の好きなことや得意なことに徹底的に付き合う。

遊び直し

・本人の“楽しい”、“うれしい”という自然な感情を引き出し、失敗や負けを恐れずに、心から笑える瞬間を共有する。

ふり返り

・体験した出来事について、その時の気持ちや考えを言語化し、試行錯誤に寄り添いながら、前向きな自己理解を育む。

鴨志田中通級の指導の3本柱

『傾聴・遊び直し・ふり返り』

良き伴走者として

自然な感情の表出

安心・安全

受け入れられた感覚

ほっとできる居場所づくり

他者との関わり

伝えられた経験

多様な価値観との出会い

感情や思考を整える機会

前向きな自己理解と社会的スキルの獲得

『自己決定力』と『相談力』を育む

写真削除

担当教員自身のリフレクションと情報共有

日々の活動記録

- 短期目標
- 活動内容
- 集団構成
- 会話や言動など活動中の様子
- 所見
- 活動写真　等

担当教員自身のリフレクション
教員間の情報共有と他者視点の獲得

画像削除

中学卒業後の進路選択

～将来的な自立と社会参加に向けて～

将来的な自立と社会参加に向けて

『自己決定力』…できること・できないことを見極める力

やりたいこと・やるべきこと

- できること
  - 意欲的にやる
- できないこと
  - できた方がいいこと
    - できそう
      - まわりの人や物に **手伝ってもらう** ことが“できる”
    - できなさそう
      - まわりの人や物に **やってもらう** ことが“できる”
  - できなくていいこと
    - **拒否や回避する** ことが“できる”

本人の試行錯誤に寄り添う

ふり返り・自己理解

教育 合理的なサポート

自己選択・自己決定の機会、本人がその気になる提案、拒否や回避の許容

将来的な自立と社会参加に向けて

『相談力』

自分の快・不快な感情を表現できる。

自分の気持ちや考えを伝えられる。

自分が困っていることを伝えられる。

自分が何に困っているか説明できる。

- 何に困っていて、どうしてほしいか相手に説明できる。
- 自分から、いつ、だれに相談すればよいかわかる。

本教室利用生徒の中学卒業後の進路選択

		R3（R4入学）	R4（R5入学）	R5（R6入学）
公立	全日制	31%	24%	33%
	定時制	5%	10%	4%
	通信制	2%	2%	0%
私立	全日制	23%	29%	33%
	定時制	0%	0%	0%
	通信制	29%	19%	24%
国立		0%	2%	0%
サポート校		5%	5%	4%
高等専門		3%	0%	0%
高等専修		2%	3%	4%
高等特支		2%	3%	4%
その他		0%	2%	0%

◆最近の進路選択における傾向

- 学習状況（評価･評定）をもとにした学校選択だけでなく、自分に合った学び方や学習内容、通学スタイルやサポート体制等を考えた選択の増加
- 自分に合った入試方法の選択
- 入試における合理的配慮の申請　等

本人の様子や状態に応じて、近い将来の展望等を話題にしながら、本人に合った進路情報を提供しています。

Ⅰ．中学卒業後の進路選択に向けて

- どのような進路の選択肢があるのかを知り、
- 子どもの特性や伸ばしていきたいところを整理して、
- 本人と話し合い、試行錯誤に寄り添いながら、
- 最終的に、本人が納得して自己決定すること

学習状況

成績、テスト等

本人に合った学び方

学習内容や
通学スタイル等

２．高校の種類

◆高校卒業資格を得られる学校：高等学校

全日制 高等学校	毎日登校し、一日を通して授業が行われます。 学年制と単位制があり、学科は普通科・専門学科・総合学科があります。
定時制 高等学校	午前の部・午後の部・夜間の部が毎日登校します。 一日の活動時間が全日制に比べて短い分、卒業するまでに通常４年かかります。
通信制 高等学校	レポート・スクーリング・テスト等を通して高校卒業に必要な単位を取得します。自宅学習中心の学校や通学タイプやオンラインによる学習等を選べる学校もあります。

2．高校の種類

◆そのほかの学校

サポート校 技能連携校	通信制高校の卒業や単位取得、高卒認定試験に向けた学習等をサポートする場所です。その学校だけでは高校卒業資格は得られません。学習・資格取得・就職活動・自立支援等さまざまなサポートがあります。
高等専修学校	職業もしくは実生活に役立つ専門知識を学べる学校です。 その学校だけでは高卒資格は得られませんが、「技能連携制度」を利用して高卒資格を得たり、「大学入学資格付与指定校」を選べば大学への進学も可能となります。
高等専門学校	主に工学・技術系の専門的な教育を行う5年制の学校です。 修了すると短大卒扱いとなり、大学に進学する場合は3年からの編入となります。卒業後、そのまま就職する人も多くいます。
特別支援学校 高等部	自立を目的とした学校です。 発達面の特性などに対する個別の支援が受けやすく、卒業後の就職を目指した職業教育も充実しています。

３．神奈川県の公立高校　新しい学びのかたち

◆［神奈川県公立高校］新しい学びのかたち

- クリエイティブスクール
- フレキシブルスクール
- フロンティアスクール
- 通信制新タイプ校
- インクルーシブ教育実践推進校
- 通級による指導導入校　など

神奈川県立高校改革（平成２８年度～令和９年度）として、質の高い教育の充実、学校経営力の向上、再編・統合等の取組み等が行われています。詳しくは、神奈川県のホームページを参考ください。

４．高校入試における選考方法

◆高校入試における受検（受験）と選考

- 調査書点（内申点）と当日の学力検査による受検
- 出願資格（評定や出席状況等）を満たし、学校間の入試相談を行った上での受験
- 評定を問わず、学力試験の結果のみで選考
- 評定を問わず、面接や作文のみで選考 など

＊学校ごとに異なるだけでなく、同じ学校でも学科やコース、出願方法等によって選考方法は様々です。

5．高校受検時の合理的配慮

◆［神奈川県公立高校］入学者選抜における配慮等の申請

- **受検方法等の申請**

  第6号様式「受検方法等申請書」

  ➡中学校での合理的配慮や支援状況をもとに申請（県教育長が承認）

  ＊神奈川県公立高校入学者選抜は、「マークシート方式」による学力検査を実施しています。

- **長期の欠席を理由とする選抜方法の取扱い申請**

  第7号様式「長期の欠席を理由とする選抜方法申請書」

  第8号様式「長期の欠席を理由とする選抜方法の取扱い申請書」

  ➡選考における調査書（調査書点）の取扱いへの配慮の申請

  ＊欠席日数の条件あり

６．卒業後の進路選択に向けた大まかなスケジュール
７．本教室の卒業生の主な進学先

◆大まかなスケジュール

・７月頃～９月頃

神奈川県公立高校入学者選抜実施要項配布開始

私立各校の募集要項（出願資格等）配布開始

＊私学の通信制やサポート校等では、説明会や入学相談等が年間を通して行われています。

◆本教室利用生徒の主な進学先

（配布資料参照）

８．高等学校の就学支援制度
９．横浜市の学齢後期支援事業（中学生～高校生）

◆高等学校の就学支援制度

高等学校等就学支援金のほか、高校生等奨学給付金、その他の就学支援策、各自治体が独自に実施する奨学金などの事業があります。

◆横浜市の学齢後期支援事業（中学生～高校生）

【医療型】小児療育相談センター

【医療型】横浜市総合リハビリテーションセンター

【福祉型】横浜市学齢後期発達相談室くらす

＊この他、放課後等デイサービス、各区の基幹相談支援センター、生活支援センターなどがあります。

今後の予定

今後の予定

◆新年度始業式後、『新クラス』と『担任の先生の名前』を本教室（045-961-8727）へご連絡ください。

☎ 令和６年４月８日(月)～10日(水)の３日間

＊ご連絡いただいた際に、新しい担当者をお伝えします。

◆新年度の指導開始予定：令和６年４月25日（木）

配信メールや教室ホームページでも随時お知らせします。
＊マチコミメールの登録は自動で継続されます。